

主題：パウロの書簡における真理の重要な項目
——コリント人への第一の手紙

メッセージ 12

キリストの豊富を吸収することによって、
またキリストの頭首権に服従して彼の御座の下にとどまることによって、
キリストの頭首権を尊ぶ

聖書：I コリント 11:3. コロサイ 2:19. 啓 22:1-2 前半.
エゼキエル 1:22, 26. 啓 3:21

- I. わたしたちは神聖な統治の中でキリストの頭首権を尊ぶ必要があります——「あなたがたに知ってもらいたいのですが、キリストはあらゆる人のかしらであり、男は女のかしらであり、神はキリストのかしらです」——I コリント 11:3:
- A. ここで、あらゆる人に対するキリストの頭首権は、個人と関係があります。キリストは、団体的にはからだである召会のかしらであり（エペソ 5:23）、個人的には信者たちのかしらです。
 - B. まず神の頭首権の下に来ることをせずに頭首権を得ようとしたことが、天使たちが墮落した原因でした。わたしたちが反逆した天使たちに証ししたい事は、わたしたちがキリストをわたしたちのかしらとして受け入れるということです——イザヤ 14:12-15. I コリント 11:2-3, 10.
 - C. 神の目標は、キリストをかしらとして任命して、あらゆる人が彼に服従するようになることです。わたしたちは、神の頭首権の下にいる人々とならなければなりません。すなわち、わたしたち自身がキリストに服従することを通して、キリストご自身が自身の神に服従したことを反映する人々とならなければなりません——エペソ 1:10. I コリント 11:10. ピリピ 2:5-11.
 - D. 神の御子キリストは、彼の人性において人類のかしらとして、神の王国の統治のために父なる神の頭首権の下にいます——ヨハネ 5:19, 30.
- II. 「かしらに結び付いて……この方から、からだ全体は、節と筋によって豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのはです」——コロサイ 2:19:
- A. わたしたちがかしらに結び付いて（19 節）、彼と親密につながり続けるなら、聖書の異なる解釈を持つことはあり得ません。違いが起こるのは、だれがかしらに結び付いていないときです。なぜなら、キリストはかしらとして、ある肢体に一つの事を言い、別の肢体には他の事を言うことは、あり得ないからです。
 - B. わたしたちは、ローマ第 15 章 6 節の「一つの口」と I コリント第 1 章 10 節の「同じ事を語る」を、エペソ第 2 章 15 節の「一人の新しい人」と共に考える必要があります。
 - C. からだひとりの新しい人であり、からだのかしらは、からだのパーソンです。

そして、このパースンは一つの口を持っており、同じ事を語ります。わたしたちがかしらとしてのキリストに結び付くとき、わたしたちはみな彼をわたしたちの唯一のパースンとします。ですから、わたしたちはみな一つの口を持っており、一つ思いの中にあり、同じ事、すなわち、キリストと召会に関する神の永遠のエコノミーの唯一の教えを語ります——I テモテ 1:3-4. エペソ 5:32。

D. わたしたちはキリストのからだの肢体として、かしらから養いの要素を吸収します。からだはかしらの豊富を吸収することによって、神の増し加わりをもって、すなわち、命としての神のわたしたちの中での増加をもって、成長します。神はこのようにして成長を与えてくださるので、わたしたちは時間を費やして彼を吸収する必要があります：

1. わたしたちと主との接触は、急いで行なうべきではありません。毎朝わたしたちは十分な時間を費やして、主を吸収する必要があります。最も良いのは、新しい一日の開始に、三十分を費やして彼を享受することです。
2. わたしたちは、自分の状況、自分の状態、自分の失敗、自分の弱さを忘れて、ただ時間を費やして主を享受し吸収する必要があります。わたしたちは自分の霊の中でさらに多くの時間を費やして、主を愛慕し、主を賛美し、主に感謝し、自由に主に語る必要があります。
3. わたしたちはこのように彼と交わりを持つとき、彼の豊富を吸収し、さらに多くの彼ご自身をわたしたちの中へと加え、それによってわたしたちは神の増し加わりをもって成長します。

Ⅲ. わたしたちはキリストの頭首権に服従して、彼の御座の下にとどまる必要があります。御座に座している方は、小羊・神、わたしたちの贖う神であって、彼の御座から命の水の川が流れ出て、わたしたちの供給と満足となります：

- A. 啓示録第 22 章 1 節から 2 節前半が描写しているのは、三一の神、すなわち、神、小羊、命の水によって象徴されるその霊が、彼の御座、すなわち彼の頭首権の下で、どのようにしてご自身をわたしたちの中へと分与するかということです——参照、ヨハネ 4:14 後半。
- B. 聖なる都の大通りは、神聖な性質を表徴する純金です。命の水の川が「大通りの中央」を流れていることが表徴するのは、神聖な命が神聖な性質の中を流れて、神の贖われた民の日常生活の唯一の道となっているということです——啓 21:21 後半. 22:1。
- C. さらにまた、命の木としてのキリストが、命の川としてのその霊の流れに沿って、取り入れることのできる命の供給となっています。その霊が流れる所に、キリストの命の供給が見いだされます——2 節前半。
- D. 小羊・神の御座は、神の家庭の行政、すなわち神の永遠のエコノミーのためです。神は、計画された方でした。彼は、贖う小羊と成りました。最終的に彼は、命を与える、流れる霊と成りました——ヨハネ 1:14, 29. I コリント 15:45 後半：

1. わたしたちはキリストの頭首権に服従して、彼の御座の下にとどまるときはいつも、神の豊富に満ちたものがわたしたちの内側を流れることを直ちに感

じます。

2. 毎朝起きた後、わたしたちは次のように言う必要があります、「主よ、あなたをわたしの主とするための新しい一日を感謝します。わたしは一日中、あなたの頭首権の下に服従します。主よ、わたしの生活の中であなたの御座を設けてください。わたしの存在の中心に、あなたの御座を設けてください。主よ、わたしの一日と日常生活をあなたの御座の下にもたらししてください」。
3. 毎朝わたしたちがそのような祈りを三一の神にささげるなら、その瞬間から生ける水がわたしたちの中を流れ、わたしたちは飲みます。さらにまた、わたしたちは神聖な性質を、わたしたちの聖なる大通りとして、わたしたちの唯一の道として享受します。またわたしたちは命の木を食べて、わたしたちの命の供給とします——啓 22:14, 17。
4. わたしたちが生ける水の内なる流れがないと感じるとき、その理由は、わたしたちの存在の中心においてわたしたちが三一の神の主権、頭首権、権威を受け入れず、あるいは承認していないからです。
5. 三一の神が流れる所において、わたしたちは彼に仕え、彼の御顔を見て、彼と共に王として支配します——3-5 節。

E. 神と小羊との御座は、わたしたちの霊（真のベテル、神の住まい）の中にある恵みの御座です。わたしたちは霊に戻るときはいつも、天の門に入り、天のはしごとしてのキリストを通して、天にある恵みの御座に触れます——ヘブル 4:16. ローマ 5:17, 21. 啓 4:1-2. 22:1. ローマ 8:34, 10. エペソ 2:22. 創 28:12-17. ヨハネ 1:51。

F. 御座におられる方は、小羊・神であって、小羊はともし火であり、神はともし火の内側にある光です。わたしたちが、わたしたちの存在のあらゆる部分において、またわたしたちの生活と働きのすべてにおいて、キリストを御座につけるととき、わたしたちは彼を、贖う方として、輝く方として、王として支配する方として経験して、命の交わりの中で彼を命の供給また命の道として享受します——啓 21:23. 22:1-2. 21:21 後半。

G. 御座におられる方は、赤めのう（その赤色は贖いを表徴します）や碧玉（その濃い緑色は豊富な命を表徴します）のようです。こういうわけで、わたしたちがキリストの頭首権に服従し、また彼の御座の下に服するとき、わたしたちは彼の法理的な贖いと有機的な救いにおける彼であるすべての受益者となります。それによって、わたしたちは神の豊富な命の中で、栄光の神と同じ現れを持ちます——4:3. 21:11。

IV. エゼキエル第 1 章は、澄み渡った空の上にある神の御座の絵を提示します——エゼキエル 1:22, 26 :

- A. わたしたちは、畏るべき水晶のような澄み渡った霊的な空（澄み渡った良心）を持つべきです。その意味は、わたしたちの主との間に何もなく、わたしたちとお互いとの間にも何もないということです——使徒 24:16. I テモテ 1:5. 3:9. II テモテ 1:3。

- B. 水晶のように澄み渡った大空の上にあるサファイアの御座が示している事は、いつであれわたしたちがクリスチャン生活と召会生活において「澄み渡った空」を持つとき、わたしたちは恵みの御座の支配の下にあり、主の支配する臨在の天的な状況と雰囲気と状態を持つということです——エゼキエル 1:26. ヘブル 4:16. ローマ 5:17, 21。
- C. わたしたちの霊的経験における最高点は、澄み渡った空とその上にある御座を持つことです。この点に到達することの意味は、あらゆる事においてわたしたちが、神に首位となっていていただき、神の権威と行政に完全に服従することです。
- D. わたしたちが霊的生活の中で御座を持つなら、神はわたしたちを支配するだけでなく、わたしたちの中で、わたしたちと共に、わたしたちを通して、ご自身の定められた御旨を成就します——コロサイ 1:18 後半. エゼキエル 1:5, 参照、26 節。
- E. 御座に座している方は、イエス・キリスト、人・神、神と人とのミングリングです——26 節. ヨハネ 6:62. 使徒 7:56. 参照、ピリピ 2:9-11. ローマ 10:12-13 :
1. 御座におられる人は、こはく金と火のようです。すなわち、彼の腰から上はこはく金のようであり、彼の腰から下は火のようです——エゼキエル 1:27-28。
 2. 腰から頭までの人の上の部分は、感覚の部分であり、人の性質と正常を表徴します。御座の上の主イエスは、彼の性質と性情によれば、こはく金の外観、すなわち、贖う神の輝くばかりの表現を持っています。
 3. 人の体の下の部分は、行動するためです。彼の腰から下の火の外観が表徴するのは、主の焼き尽くし聖別する力を持った主の行動における主の外観です——参照、4 節。
- F. 神の意図は、人の上で働いて、人が御座の上にいるようにすることです——「勝利を得る者を、わたしと共にわたしの座に着かせよう。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父と共に彼の御座に着いたのと同じである」——啓 3:21。
- G. 主イエスは開拓者として、道を切り開いて、栄光の中へと入り、御座の上に座しています。わたしたちは彼の多くの兄弟たちとして、今や彼に従いつつあります——ヘブル 2:6-11. 啓 22:5。
- H. 神はわたしたちを御座にもたらしことを願っています。なぜなら、サタンが神の御座に対して反逆したからです——イザヤ 14:12-14 :
1. サタンの御座はこの世であり、それは野心、自己を高く上げること、意見と観念から構成されています。これら三つのものが分裂という結果になるとき、この世は「邪悪」となります——啓 2:12-13 前半. ヨハネ 17:15。
 2. この世とサタンの権威とから救われる道は、わたしたちが自己から出て来て、三一の神の中へと入ることです。それによって、わたしたちはキリストの頭首権の下で生きることができます。

3. わたしたちが絶えず御言に触れ、また日々、その霊にわたしたちに触れていただくなら、わたしたちは聖別されます。すなわち、わたしたちは自己（わたしたちの古い住まい）から出て来て、三一の神（わたしたちの新しい住まい）の中へと入ります——17, 21 節. 参照、啓 2:17。
4. このようにして、主はわたしたちの心の中にご自身のホームを造り、わたしたちの心の中で御座に着き、あらゆる事においてわたしたちを支配し、彼の頭首権の下でわたしたちを透明にし、輝かせ、新鮮にし、生き生きとさせ、栄光の中でキリストの満ち満ちた団体的な表現とならせます——エペソ 3:16-19. 啓 22:1. 21:11。

© 2023 *Living Stream Ministry*